

#### 4 電気冷蔵庫の経済的使用法について (第2報)

広島大教育 桑田 百代

1 演題の目的に従い、経済上に及ぼす影響の中、今回は気温の高低の与える影響、並びに継続使用による場合と、断続使用する場合とについて研究を行ってみた。

2 本研究は昨年度総会で発表を行ったものの第2報である。方法としては大体昨年度と同様の方法を採用し、今回は室温を  $20 \pm 0.5^{\circ}\text{C}$  と、 $30 \pm 1^{\circ}\text{C}$  に保たせて測定を行い、その結果の比較研究を試みた。但し今回は実用に供する目的から、ダイヤル4までをとりあげた。

3 以上の事から次の如き結論を出すことができたので、それについて発表する。

- (1) 運転時間については継続する時間が長くなるに従って漸減し、一定限以後僅かに増加を示すが、この差は極めて僅少である。休止時間は時間の経過により漸増し、この差はかなり著しい。従って電力消費量は単位時間につき、当初最も大で以後漸減していく。
- (2) 庫内温度がそのダイヤルの示す最低温度に達するのは、運転開始後3～4時間であり、気温の高低には殆んど影響がみられない。
- (3) 気温の高低による運転状況の変化は、ダイヤルの各示度により稍異った様相を示しているが、概括的に云って電力消費量は気温の低い時の方が小である。従って室温のできるだけ低い場所を選んで設置することが望まれる。